

自動車会議所 ニュース

発行所



一般社団法人 日本自動車会議所
Automobile Business Association of Japan

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

日本自動車会館

電話 03 (3578) 3880

FAX 03 (3578) 3883

URL <http://www.aba-j.or.jp>

2015

8

No.871

発行人 中島 哲 編集人 田村里志

購読料 1部50円（購読料は年会費に含む）

東名高速足柄SAで交通安全キャンペーン 後席シートベルトの着用を呼び掛け



静岡県警察本部、静岡県高速道路交通安全協議会、
NEXCO中日本、JAF、当会議所などが共同で実施

日 本自動車会議所は7月11日、東名高速道路上り線の足柄サービスエリア（SA）で行われた「夏の交通事故防止運動キャンペーン」に参画し、後席シートベルトの着用を呼びかける啓発チラシを配布するなどして交通安全活動を展開した。このキャンペーンは、静岡県の「夏の交通安全県民運動」（7月11日～20日までの10日間）の一環として行われ、静岡県警察本部高速道路交通警察隊、静岡県高速道路交通安全協議会、中日本高速道路（NEXCO 中日本）、日本自動車連盟（JAF）らと共同で実施した。当日は、パトロールカー乗車体験や、シートベル

トコンビンサー車での衝突疑似体験、発炎筒使用体験、高速道路の落下物展示、クイックアームとクイックステップによる俊敏性測定などが行われ、SAに休憩に訪れた家族連れなどが順番待ちの列を作ったこれらの催しを楽しみながら体験していた。人気テレビ番組とのコラボ企画なども実施されている足柄SAは、東名高速の人気SAのひとつ。厳しい暑さに見舞われたものの、参画団体のスタッフらがドライバーや行楽客など約300人に啓発チラシやグッズを手渡して後席シートベルトの着用を訴えた。

（キャンペーンの様子は9ページに掲載）

◆◆ 主な内容 ◆◆

- | | |
|----------------------------------|--|
| ■ 第1回特別委員会開催.....2 | ■ 夏の交通事故防止運動キャンペーンの様態.....9 |
| ■ 第216回会員研修会開催.....5 | ■ 交通安全ポスター原画コンテスト作品募集.....10 |
| ■ 東京・豊洲で飲酒運転根絶イベントを開催[東京都].....8 | ■ 9都県市首脳会議が首都圏3環状道路の整備などを政府に要望[東京都].....11 |

（主な記事はホームページ＝<http://www.aba-j.or.jp>＝にも掲載しています）

「特定商取引法の見直し」に対する意見書を取りまとめ



自民党内閣部会などに陳情を実施

第1回 特別委員会開催

日 本自動車会議所は7月28日、特別委員会（委員長＝島崎有平・日本自動車販売協会連合会常務理事）を開催し、経済産業省商務流通保安グループ消費経済企画室の伊藤正雄室長より、政府の消費者委員会が検討している「特定商取引法の見直し」について議論の経過に関する説明を受け、同法の見直しに対する当会議所の意見書案について審議を行った。また、あわせて関係各方面に陳情活動を行うことも決めた。

訪問販売・電話勧誘販売等について禁止を含めた規制強化の検討を行っている「特定商取引法の見直し」については、消費者委員会が本年8月末までに中間取りまとめを行う予定で、その内容によっては、自動車の販売・流通にも大きな影響があると考えられる。特別委員会の審議では、意見書案は概ね了承され、委員会終了後に寄せられた意見を反映して最終的に意見書が取りまとめられた。当会議所は、意見書の取りまとめを受けて、8月6日および7日、島崎特別委員長を先頭に与党の関係議員および政府に対して陳情活動を行った。

＝意見書の全文は3～4ページに掲載＝

【「特定商取引法の見直し」の状況】

1. 現在の消費者委員会特定商取引法専門調査会での検討状況は、規制強化の必要性や範囲についての共通理解が専門調査会全体として固まっていない状況。一方的な議論にならないよう、事業の実態が議論に適切に反映される必要がある。
2. 同案は8月末に取りまとめられ、9月以降にも継続して議論される予定。パブリックコメント等

が実施される際には、事業者も積極的に事業実態に即した意見を提出することが求められる。

【特別委員会意見書の概要】

意見書では、「特定商取引法は、事業者による違法・悪質な勧誘行為等を防止し、消費者の利益を守っていることを、我々自動車業界は十分理解しその順守に努めています」との基本認識を打ち出したうえで、「今般消費者委員会で検討されている、不招請勧誘の禁止や『Do Not Call Registry』、再勧誘禁止の規制強化等の新たな規制については、強く反対致します」と訴えた。

※不招請勧誘の禁止：勧誘の要請をしていない顧客に、訪問または電話で勧誘を行うことを禁止すること

※ Do Not Call Registry：電話セールスお断りという消費者は、電話お断りリストに自分の番号を登録できる制度

※再勧誘禁止の規制強化：事業者が消費者に勧誘を断られた場合、後日別の商品の勧誘でも禁止すること等

【主な陳情先】

▽自由民主党内閣部会：秋元司部会長（衆）、▽同党消費者問題調査会：船田元会長（衆）、島尻安伊子副会長（参）、穴見陽一事務局次長（衆）、▽行政他：内閣府、消費者委員会、消費者庁、経済産業省などの関係者

※（衆）：衆議院議員、（参）：参議院議員

「特定商取引法の見直し」に対する意見

(一社) 日本自動車会議所 特別委員会

<総論>

特定商取引法は、訪問販売や通信販売等、消費者トラブルを生じやすい取引類型を対象に、事業者が守るべきルールと、クーリング・オフ等の消費者を守るルールを定め、これにより、事業者による違法・悪質な勧誘行為等を防止し、消費者の利益を守っていることを、我々自動車業界は十分理解しその順守に努めています。

しかしながら、今般消費者委員会で検討されている、不招請勧誘の禁止や「Do Not Call Registry」、再勧誘禁止の規制強化等の新たな規制については、悪質な事業者から消費者を守る効果は乏しく、健全な経済活動を委縮させる恐れがある上、消費者にとっても不利益となる恐れがあるため、強く反対致します。

(1) 新たな規制は、悪質な事業者から消費者を守る効果は乏しい

現在の消費者被害は、再勧誘禁止等の現行法を順守しない一部の悪質事業者により引き起こされており、かかる事業者が現行法を順守させる執行体制の強化が、今求められる政策です。現在検討中の一律に不招請勧誘を禁止する政策は、大多数の優良な事業者の健全な経済活動を委縮させる一方、本来の目的である悪質事業者の排除に関しては効果が乏しいと考えます。目的に即し、他にマイナス影響が生じないよう政策の検討をお願い致します。

(2) 新たな規制は、自動車販売業の健全な経済活動に大きな影響を及ぼす恐れがある

自動車という商品は、消費者（ユーザー）による長期間の使用が予定されており、生活に密接なものであるとともに、人の命を預かるものであるため、自動車販売業としては消費者との長期的な信頼関係を構築することが大変重要です。このため電話や訪問を通じた商品情報の提供や定期的なメンテナンスへの勧誘等は、消費者との信頼関係を構築する上で必要不可欠な活動です。また、電話や訪問を望まない顧客に対しては、システム管理等により適切に対応するなど、顧客の意向を尊重し日頃の営業活動を実施しています。一律に不招請勧誘の規制が導入されれば、自動車販売業の根幹である、こうした顧客との信頼関係構築のための活動が実施できなくなり、経営的にも大きな影響を受けることになります。

（3）新たな規制は、消費者の利益に反し多くの弊害を伴う

消費者も、専門的知識・経験を持った自動車販売会社による電話や訪問を通じた、新車やメンテナンスに関する定期的な案内が、当然あるものと認識・期待して自動車を使用している方が数多くおり、事業者からの電話案内等が不意打ち的なものになるという事態は考え難いものです。実際に、顧客からは「（エンジンが不調になったとき）なぜオイル交換を強く勧めてくれなかったのか」「（雪が積もったとき）なぜスタッドレスタイヤへの交換を強く勧めてくれなかったのか」などの声があります。

税制度の変更やモデルチェンジ等が消費者に与える影響が大きい自動車においては、新規顧客に対する訪問活動によって、初めて必要な情報が得られる消費者も多いと考えられます。実際、そうした新規の訪問活動により購入に至るケースもあり、「販売店と良好な関係が築けた」とのアンケート結果が存在することも看過できません。

新たな規制の導入により、健全な事業者から真に必要な情報が提供されなくなり、かえって消費者にとって不利益となる事態を生じさせる懸念があります。

特別委員会 陳情活動

（「特定商取引法の見直し」に対する意見書提出）

- ①＝自民党消費者問題調査会の船田元会長（写真右）に意見書を手渡す島崎有平委員長
- ②＝自民党内閣部会の秋元司部会長（写真左）に意見書の内容を説明する島崎有平委員長（写真中央）
- ③＝自民党消費者問題調査会の島尻安伊子副会長（写真左）に意見書の内容を説明する島崎有平委員長（テーブル右側中央）



新興国自動車市場の不安をどう見通すか ～世界経済およびライトビークル販売市場の展望～



IHS グローバル(株) マネージャー 川野義昭氏が講演

第216回 会員研修会開催

日 本自動車会議所は7月21日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で第216回会員研修会を開催し、IHS グローバル株式会社 日本・韓国ビークル・セールス・フォーキャスト マネージャー 川野義昭氏が、「新興国自動車市場の不安をどう見通すか～世界経済およびライトビークル販売市場の展望」をテーマに講演した。参加者は約70名。

【講演要旨】

1. 世界経済の動向・展望

(1) 世界経済の概要

世界経済は2012-13年を底に、北米や西欧等の成熟経済の底堅さから回復途上傾向にあったが、新興国の鈍化傾向を受け、様相はまだ模様となっている。長期的には、比較的明るい兆しがみられ、非常に緩やかながら改善することが見込まれる。(図表1)

各地域別に見ていくと、米国は、住宅市況と雇用環境の底堅さや個人消費の堅調さを背景に、経済は比較的好調を維持すると見ている。ユーロ圏は、消費が回復し、財政難も解決の方向、量的緩和が環境改善への道筋(ただしギリシャ問題は懸念点)となる。

新興国経済は、各国の構造改革等による生産性向上の進展度合いに左右される。短期的には、政治情勢などのリスクが残り、ビジネスに影響する可能性もある。(図表2)

特に中国について言及すると、現在、中国経済は鈍化傾向が見られるが、長期的には内陸部への経済

＜図表1＞ 世界経済と主要国別実質成長率の展望

Real GDP Growth : JUN forecast (%)								
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
World	2.7	2.6	2.8	2.6	3.3	3.4	3.5	
US	2.3	2.2	2.4	2.2	3.1	2.7	2.5	
Eurozone	-0.8	-0.3	0.9	1.5	1.9	1.8	1.7	
Japan	1.7	1.6	-0.1	1.0	1.5	0.7	0.7	
China	7.7	7.7	7.4	6.5	6.3	6.5	6.5	
India	5.1	6.9	7.3	7.6	8.1	8.0	8.0	
Brazil	1.8	2.7	0.1	-1.6	0.7	1.9	2.5	
Russia	3.5	1.3	0.6	-4.1	-0.8	1.7	1.6	
Thailand	7.3	2.8	0.9	3.0	3.2	3.3	3.9	
Indonesia	6.0	5.6	5.0	5.0	5.3	5.5	5.5	

成長の波及や、強大な権力を持つ中央政府による景気浮揚策により堅調に成長していくと見ている。

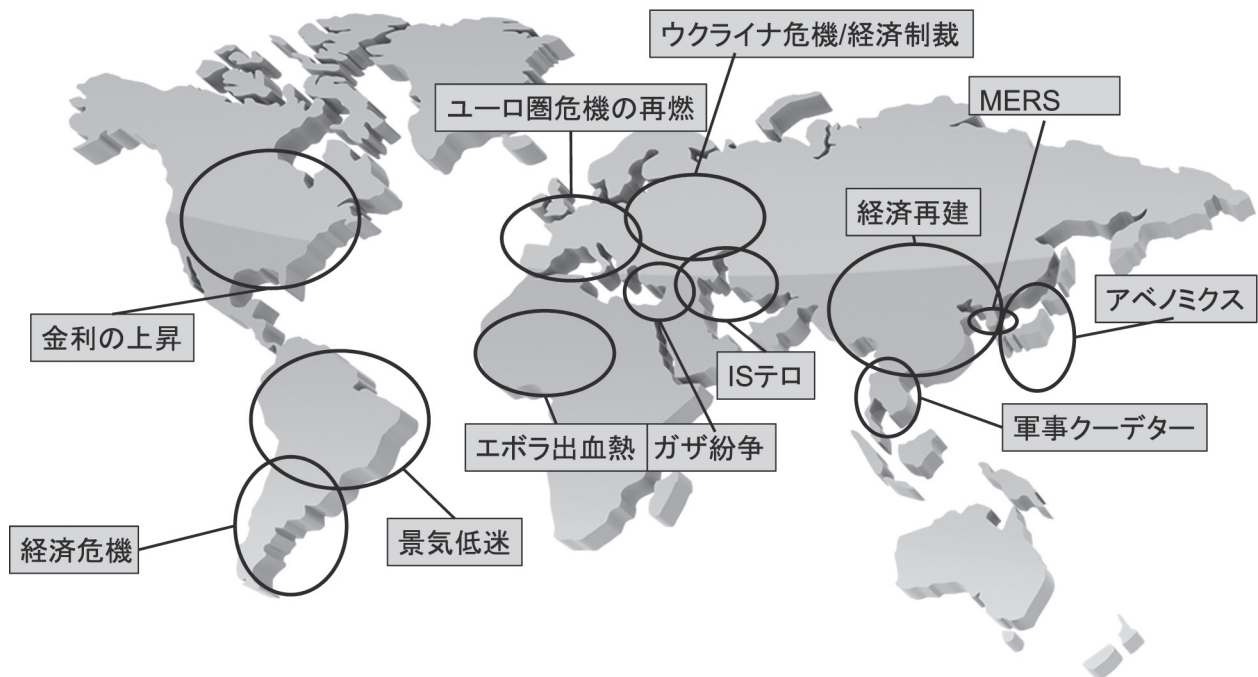
(2) 直近の経済指標の動向

鉱工業生産は、欧州は改善している一方、中国は減速、ロシアおよびブラジルはさらなる深刻な減速に見舞われている。また、失業率は、成熟国市場で改善する一方、新興国市場では悪化している。消費者物価を見ると、日本や欧州圏が需要の弱さによりデフレが継続する一方で、ロシアやブラジルでは輸入インフレによる物価上昇が顕著となっている。

原油価格は、短期的には北米での原油生産が続くことと、世界的な需要の弱含みにより、低水準が続く。このため、一部の資源国・供給国になりうる国々(イラク、ブラジル、カザフスタン)は、厳しい経済状況に直面するだろう。

イラク、シリア、ウクライナ、リビア、ベネズエラ、ナイジェリア、南スーダン、イエメンなどでの

＜図表2＞経済回復が続く中、社会的・政治的不安は世界の各地で…



地域紛争は価格上昇の要因となりうる。

いずれにしても、中長期的には、世界的な石油生産能力の余剰に比較的余裕がなくなっていくため、価格上昇につながっていくと見ている。

2. 世界ライトビークル販売の動向・展望

※ライトビークル：車両総重量が基本6トンまでの車両で三輪車や超小型車は除く

今後の世界ライトビークル販売を展望すると、成熟国市場の回復と新興国市場の長期的な成長が市場拡大の原動力となる。新興国においては、長期的には中国を中心に新規需要による保有増大と、増大した保有車の買い替え需要が相まって、市場が拡大していくと見ている。

世界ライトビークル販売は2015年8,760万台弱見込み（前年比+1.5%）から、長期的な経済の全体的回復基調によって市場が拡大し、2020年には1億台を超える見込み。（図表3）

3. 主要地域・国別需要の動向・展望

(1) 米国 ライトビークル販売動向

予測：2015年1,700万台→2020年1,710万台

2020年までの市場拡大の要因：
個人消費と住宅投資の持ち直しを背景に緩やかに成長

米国の雇用回復や燃料価格下落（原油安）による順調な景気回復によって、市場はリーマンショック前の水準に回復した。その後も堅調に推移するが、その回復・成長ペースは、金融緩和縮小、さらには利上げの影響もあり、短期的には鈍化傾向。長期的には、個人消費と住宅投資の持ち直しを背景に雇用の拡大が続き、家計・企業ともに経済活動が活発化し景気は緩やかに拡大していくと見ている。

(2) 欧州 ライトビークル販売動向

欧州全体予測：

2015年1,720万台→2020年1,980万台

うちロシア予測：

2015年 160万台→2020年 270万台

2020年までの市場拡大の要因：

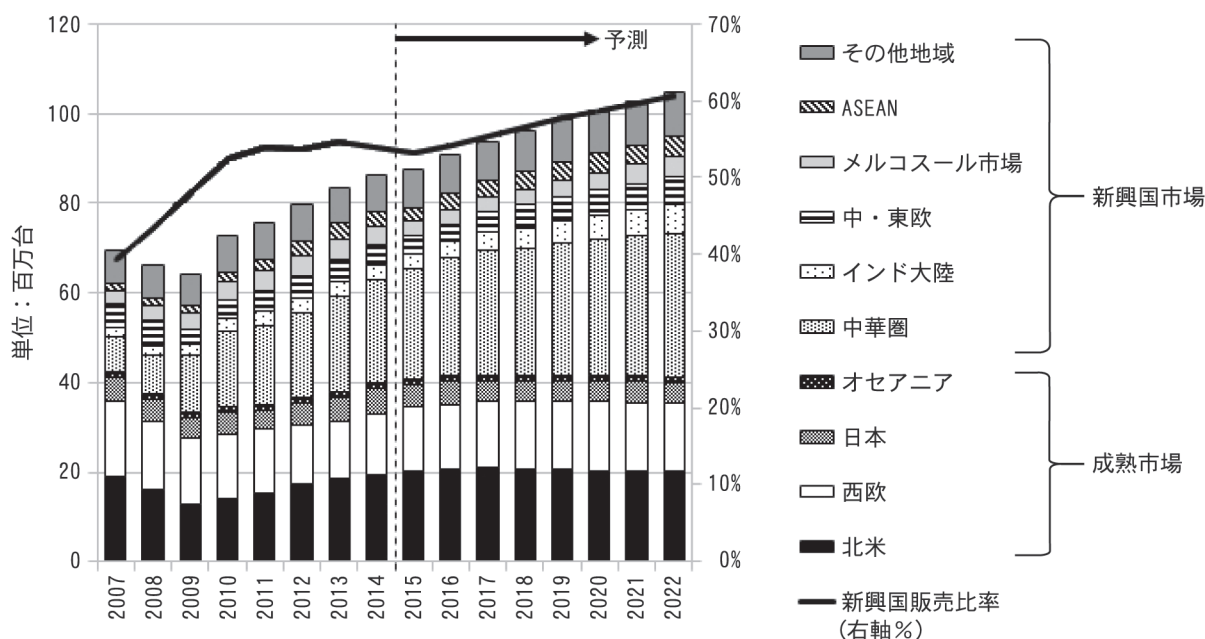
長期的な原油価格の上昇や強力な政権による経済活性化のテコ入れによるロシアの景気回復

欧州地域販売（東欧・ロシアを含む）はようやく2014年に好転した。

西欧市場は、ユーロ圏債務危機による政府の緊縮財政のため、経済成長は限定的だったが、主要国の景気回復や、量的緩和による輸出増にも期待が出てきた。さらに、金融緩和で自動車ローン金利にも好影響が出てきている。これらにより、西欧市場は回

＜図表3＞成熟市場の回復と新興国市場の成長が中期的な成長の原動力

主要市場別世界ライトビークル販売（左軸；百万台 右軸；新興国市場の販売割合）



復を続けるものと見ている。

ロシア市場については、短期的には、経済制裁や原油価格下落、通貨安、ウクライナ情勢のネガティブインパクトで経済は打撃を受ける。

ただし、長期的には、原油価格が持ち直すことにより、国家収入増によるインフラプロジェクトの増加や、景気回復による購買力増加が市場拡大につながると見る。また、強力な政権による経済活性化テコ入れ策も今後期待できる。

(3) 新興国＜中国＞ ライトビークル販売動向

予測：2015年2,450万台→2020年3,020万台

2020年までの市場拡大の要因：

内陸部への経済成長の波及や、強大な権力を持つ中央政府による景気浮揚策など

同国は、金利・物価水準も他の新興国と比べて比較的安定している。現在の短期的な経済鈍化は長期的には堅調に回復し、自動車購入につながりやすい状況が続くと見る。

経済全体を見ると、短期的には、住宅・不動産市況、株式市況、企業・政府の財政問題、製造部門の過剰生産能力等マイナスのリスク要因が残る。しかしながら、長期的には、内陸部への経済成長の波及、

強大な権力を持つ中央政府による景気浮揚策、さらに第3次産業の発展などが新たな経済成長のけん引役になっていくと見ている。

(4) 新興国＜ブラジル＞ ライトビークル販売動向

予測：2015年270万台→2020年320万台

2020年までの市場拡大の要因：

長期的な原油価格の上昇や、商品市況の回復

短期的には、現在の物価上昇は経済のリスク要因となっており、国民の政府への不満も高まっている。

しかしながら長期的には、原油価格の持ち直しや、主要生産品である鉱物やバイオ燃料原料などの商品市況の回復によって、潜在的成長力が顕在化し市場は回復に向かうと見ている。

(5) 新興国＜インド＞ ライトビークル販売動向

予測：2015年320万台→2020年510万台

2020年までの市場拡大の要因：

新政権が進める規制緩和及びインフラプロジェクトの拡大による景気回復

同国は、中国、アセアン諸国と比較しても、人口構成が若く、こうした若く豊富な労働力が経済成長

の底上げ要因となる。また、政治の安定に加え、2015年～17年での一連の新工場稼働立ち上げと金利引き下げにも期待できる。

新政権は規制緩和を積極的に進めており、さらに道路・港湾・鉄道等に対する政府投資事業の拡大などのインフラプロジェクトの展開によって経済は堅調に推移すると見る。

(6) 新興国＜タイ・インドネシア＞ ライトビークル販売動向

タイ予測：2015年 80万台→2020年130万台超
インドネシア予測：
2015年110万台→2020年140万台超

2020年までの市場拡大の要因：

- ・タイ＝インフラプロジェクトの拡大
- ・インドネシア＝インフラプロジェクトの拡大及び輸出の拡大

タイについては、2016年前半予定の総選挙を控え市場の低迷も落ち着きを取り戻すと見ている。また政府によるインフラプロジェクトの展開によって、

経済は長期的に順調に推移すると見る。

インドネシアについては、短期的に物価上昇や消費者の購買力の低下が見られるが、長期的には、インフラプロジェクトの拡大、長期的な中国経済の成長に伴う輸出拡大によって景気回復に向かうと見ている。

(7) 日本国内 ライトビークル販売動向

登録車予測：

2015年510万台→2020年460万台

軽予測：

2015年200万台→2020年180万台

日本市場の販売台数は長期的に見て減少傾向であり、経済の低成長、少子高齢化、消費税増税、自動車保有台数の将来的減少傾向、買い替えサイクルの長期化等がマイナス要因としてあげられる。

軽自動車販売は、保有コストの低さや燃費や運転取り回しや使い勝手の良さ等を背景に、近年比較的好調で、総需要の4割前後程度で安定傾向の見通しだが、2015年以降の軽自動車税増税が懸念点である。

飲酒運転根絶イベントを開催 「アーバンドックららぽーと豊洲」で ゲストに女性空手家で歌手の前田瑠美さん

東京都・警視庁など主催

東 京都と警視庁及び東京都交通安全協会は7月1日、江東区豊洲の「アーバンドックららぽーと豊洲」で「平成27年飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベント＝写真＝を行った。このイベントは、何かと飲酒の機会が増える夏季シーズンを迎えたのを機に、飲酒運転の根絶を訴える7月1日から1週間にわたるイベントのオープニング行事。

主催者の東京都、警視庁、東京都交通安全協会では、飲酒運転の撲滅に全力を注いでおり、「アーバンドックららぽーと豊洲」で行われたこの日の式典でも、挨拶に立った警視庁の廣田耕一・交通部長をはじめ、東京都の河合潔・青少年・治安対策本部長ら主催者らは、警察官らの寸劇、トークを通じて飲酒運転による交通事故の悲惨さを訴えた。

キャンペーン隊長に任命された前田瑠美さんは、



女優、モデル、歌手として活躍しているだけでなく、柔道、太極拳の有段者であると同時に、極真空手全日本チャンピオンの座にも輝いた経験の持ち主。関係者の見守る中、その“闘う歌姫”が足蹴りで野球の木製バットをへし折ったり、瓦割りの演武を披露したりした。最後にイベント参加者全員が、通行人らに啓発グッズを配布してイベントを終了した。

東京都などは新橋や秋葉原など都内17カ所の街頭大型ビジョンや、都内を走行するタクシー約2,500台に搭載された液晶モニターでも、飲酒運転の根絶を呼び掛けている。〔東京都自動車会議所〕

夏の交通事故防止運動キャンペーン in 足柄SA

キャンペーンの様様



パトカー乗車体験と記念撮影
（静岡県警察本部）



交通管理隊パトロールカー乗車体験と記念撮影
（NEXCO中日本）



シートベルトコンビンサー車による衝突疑似体験
（JAF／日本自動車連盟）



発炎筒使用体験・三角停止板設置体験
（中日本ハイウェイ・パトロール東京）



「みちまるくん」とのふれあい体験
（NEXCO中日本）



クイックアームによる俊敏性測定コーナー
（日本自動車会議所）



クイックステップによる俊敏性測定コーナー
（日本自動車会議所）

交通安全ポスター原画コンテスト 作品募集

「日本自動車会館交通安全キャンペーン」企画

締切日は9月8日(火)

9月25日に表彰式

日本自動車会館運営委員会

日 本自動車会館では、交通安全意識を高めるための交通安全ポスター原画コンテストを今年も実施することにしており、9月8日まで作品を募集しています。「家族で広げよう交通安全」、「シートベルト・チャイルドシートの着用推進」、「飲酒運転の根絶」、「高齢者の交通安全」——の4テーマの中から作品テーマを1つ選び、クルマを中心とした交通安全を啓発できる内容の作品をお寄せください。入賞作品には奨学金などが贈られ、「日本自動車会館交通安全キャンペーン」のイベント日の9月25日、同会館内で表彰式が行われます。

日本自動車会館では毎年、秋の交通安全運動に合わせ、「日本自動車会館交通安全キャンペーン」を展開しており、このキャンペーンを周知し、交通安全意識を高めるための一環として2007年から同コンテストを実施しています。全応募作品は同会館1階のエントランスホールに展示され、入館団体・法人

の関係者のほか、来館者や近隣住民など、どなたでも参加できる投票も行われます。

投票結果を参考に日本自動車会館運営委員会広報部会で選考し、最優秀賞（日本自動車会館賞）には賞状のほか副賞として奨学金10万円が贈られます。入賞作品は、同会館入館団体・法人の会報や広報誌などで紹介されるほか、入賞作品のデザインをベースにした交通安全啓発チラシやポスターを制作し、イベントや交通安全啓発活動などで活用させていただきます。



昨年の最優秀作品

《募集要項》

【テーマ】「家族で広げよう交通安全」、「シートベルト・チャイルドシートの着用推進」、「飲酒運転の根絶」、「高齢者の交通安全」——の4テーマの中から作品テーマを1つ選び、クルマを中心とした交通安全を啓発できる内容で制作してください。

【応募規定】①作品形状はA3縦（作品出力に伴う周囲1cm程度の余白可）
②タイトルを付け、100字程度のコンセプト説明書を添付
※画像データがある場合は添付願います。
データ作成は「イラストレータ」の使用をお願いします。

【締切】2015年9月8日(火)必着

【選考】日本自動車会館運営委員会広報部会で投票結果等を参考に選考

【入賞作品】①最優秀賞（1点）
日本自動車会館賞

正賞賞状・副賞奨学金（10万円）

②優秀賞（1点）

正賞賞状・副賞奨学金（3万円）

③入選（数点）

正賞賞状・副賞奨学金（5千円）

④児童奨励賞（数点）

※小学生以下の優秀作品に授与
記念品

【著作権】同広報部会に所属

※作品は返却いたしません。

【表彰式】2015年9月25日(金)

※日本自動車会館交通安全キャンペーンのイベント日

会場：日本自動車会館「くるまプラザ」会議室

【提出先】《コンテスト事務局》

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

日本自動車会館15階

一般社団法人 日本自動車会議所

ポスターコンテスト係

【お問い合わせ】TEL.03-3578-3880まで

首都圏3環状道路の 整備と有効活用を

オリンピック・パラリンピック成功に不可欠

政府に首都圏9都県市首脳会議が要望

東 京都など首都圏の9都県市首脳会議はこのほど、安倍晋三・内閣総理大臣ら政府首脳に対して、首都圏3環状道路の整備と有効活用等への取り組みについて要望した。要望は9都県市首脳会議の座長である森田健作・千葉県知事をはじめ、埼玉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の各首長らによる連名。安倍総理大臣のほか、麻生太郎・財務大臣、太田昭宏・国土交通大臣、菅義偉・内閣官房長官、山谷えり子・国土強靱化担当大臣兼内閣府特命担当大臣（防災）、甘利明・経済再生担当大臣兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）らに提出された。

要望の内容は次の通り。

1. 首都圏3環状道路の整備については、未開通区間の開通年次を明らかにして、早期に全線完成させるとともに、合わせて、暫定2車線区間の4車線化に取り組むこと。とりわけ、東京外郭環状道路の関越自動車道から東名高速道路間を2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までに開通させるとともに、東名高速道路以南の区間の計画を早期に具体化すること。

また、首都圏3環状道路を補完する横浜環状北線・北西線についても、早期開通に向けて取り組むこと。

2. 首都圏の高速道路の新たな料金体系については、都心の通過交通の環状道路への誘導や会社間乗継時の割高感など、一体的で利用しやすいものとする。新たな料金体系の導入時には、一般道への影響や環状道路の整備状況等に配慮し、利用者に過度な負担とならないよう丁寧な説明とともに、激変緩和措置等を適切に講じること。

また、平成27年10月に債務償還が終了する八王子バイパス（国道16号）相原ICから打越IC間について、確実に無料化すること。

3. 首都圏の高速道路の渋滞対策については、既存施設の有効活用やICTの積極的な導入等により、渋滞施策を政策的に実施すること。また、環状線本来の機能を発現させるため、首都高速中央環状線板橋熊野町JCT間の改良など、交通渋滞解消に寄与する事業等を推進すること。さらに、東名高速道路大和トンネル付近、中央自動車道調布付近及び小仏トンネル付近、並びに

京葉道路穴川IC付近の渋滞対策を早期に実施すること。とりわけ、東名高速道路大和トンネル付近、中央自動車道調布付近について、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会までに完了させること。

4. 高速道路構造物の大規模更新等の老朽化対策については、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催も踏まえ、利用者の安全・安心を確保するため、対象箇所を明らかにした上で、着実に推進すること。

〔東京都自動車会議所〕



日 本空港ビルディング（鷹城勲社長）は7月21日から8月3日まで、羽田空港国内線第2旅客ターミナル5階フライトデッキトキョー特設会場で「好きだから車だけ展」を開催した。おもちゃコレクターとして知られる北原照久氏の秘蔵コレクションの中から、自動車関連のおもちゃ、プラモデル、カタログなど約600点を展示。会期中の北原氏のトークショー＝写真＝では、コレクションへの思いやクルマの魅力を語った。

今回は膨大な北原コレクションの中から羽田空港ターミナルビルがオープンした1950年代を中心に、国内外を走っていた名車を展示。また貴重なカタログやパンフレット類、ノベルティーなども展示された。

北原氏は、「若い人の自動車離れが話題になっているが、クルマはあこがれの対象でした。欲しいクルマを手に入れるときめいたものです。またデジタルの画面ばかり見ている人もいるが、実物には本当に魅力のあるものが多い」と実物への思いを語る。「こうした展示を通じて、ミニカーやポスターを通して実物の自動車に関心を持ってもらう一助になれば」と、自動車の魅力を伝える“伝道師”の役割を果たしたいとしている。

羽田空港ターミナルビルでは毎年、夏休みに併せて来場者サービスの一環として、こうした展示を企画している。今回は子どもたちにも親しみを持ってほしいというねらいから、生活に密着している自動車をテーマに選んだ。会期中は毎日約2,000人の来場者があったという。

〔東京都自動車会議所〕

あい しゃ どう
愛 車 道 (258)

平安の高級乗用車

自動車や鉄道、飛行機は平気なのだが、船に乗ると途端に酔ってしまう。

だものだから、「豪華客船で地中海クルーズに招待します」などと誘われるようなことがあっても直ちにお断りしようと思っている。もっとも、そんな景気のいい誘いは天地がひっくり返っても有り得ないだろうが。

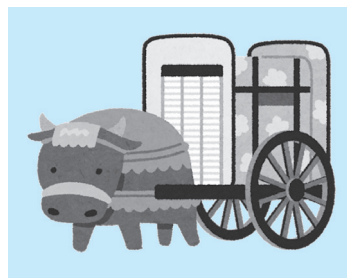
土砂降りの夕立のせいで散歩にも行けなかった先日、柄にもなく配偶者の本棚から「源氏物語」を引き出してパラパラと捲っていたら「葵」の巻が目に入った。賀茂祭り行列を見物する場所を巡って、権勢を楯にした光源氏の正室葵の上の従者が、源氏の恋人六条御息所の車を壊してしまうトラブルで知られる車争いのシーンである。

ここでいう車は、当時の貴族たちの高級乗用車であった牛車である。牛に牽引させて移動して行く乗り物だから、もちろんスピードはゆっくり。乗車定員は通常4人で、乗るときは後ろから、降りるときは牛を外して前から下車するスタイルをとっている。現代と違って道路は未舗装だしゴムタイヤはないので乗り心地が良いとは思えない。

「延喜式」内匠寮では、長さ・高さ・広さなどのほかに、車輪部分に使用される木材の種類や回転部には金属を使用するなど、製作規定が定められている。

移動の際には、
むち うしかいわらわ
鞭を持った牛飼童

が牛を引き、リードして行く。外出を終えて邸に戻ると、牛を切り離して牛車を車宿と呼ばれる車庫、即ちガレージに収納する。



「今昔物語」には、初めて牛車に乗った武士が牛車酔いに苦しめられるという件がある。この時代の陸上交通手段といえば、輿に乗るか馬を利用するくらいだろうから、贅沢車両である牛車に乗って酔ってしまうというのは頷けよう。思うにこのタイプの武士は、筆者同様に船に揺られても酔ってしまうのではあるまいかなどと想像し、密かに同情している。

江戸時代になると、庶民はタクシー代わりに駕籠を利用してしたが、二人の駕籠かきが肩に担いで乗客を運んでいくわけだから、駕籠は必然的に小型軽量化が要求されたに違はなく、また上下左右に動揺したことだろう。当時、旅に出掛ける際には「旅行用心集」という小冊子を持参するが、ここにも乗り物酔いの防止法が書かれている。

一般人も一定の訓練を受ければ宇宙へ行けるとい時代に入ったが、宇宙酔いを考えると尻込みしてしまう。やっぱりクルマが一番いい。

(モーターコラムニスト 牧 博明)

日本自動車会議所会員 (平成27年 8月1日現在) = 順不同 =

一般社団法人 日本自動車工業会
一般社団法人 日本自動車部品工業会
一般社団法人 日本自動車車体工業会
一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
いすゞ自動車販売店協会
トヨタ自動車販売店協会
日産自動車販売店協会
U D トラック販売店協会
日野自動車販売店協会
三菱自動車販売協会
三菱ふそうトラック・バス販売協会
全国スバル自動車販売協会
ダイハツ自動車販売協会
全国マツダ販売店協会
全国フォード販売店協会
スズキ自動車販売店協会
ホンダ自動車販売店協会
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
日本自動車輸入組合
一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
一般社団法人 日本自動車機械工具協会
公益社団法人 全日本トラック協会

公益社団法人 全国通運連盟
公益社団法人 日本バス協会
一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
一般社団法人 全国自家用自動車連合会
一般社団法人 日本損害保険協会
石油連盟
一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会
一般社団法人 全国自動車標榜協議会
一般財団法人 自動車検査登録情報協会
一般社団法人 全国レンタカー協会
一般社団法人 日本自動車リース協会連合会
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
一般社団法人 自動車公正取引協議会
全国自動車検査登録印紙売捌人協議会
一般財団法人 関東陸運振興センター
一般社団法人 東京都トラック協会
一般社団法人 神奈川県トラック協会
一般社団法人 日本道路建設業協会
一般社団法人 日本ゴム工業会
一般社団法人 日本塗料工業会
板硝子協会
日本自動車車体整備協同組合連合会
一般社団法人 日本交通科学学会
一般社団法人 日本陸送協会

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
一般財団法人 日本自動車研究所
一般社団法人 日本自動車機械器具工業会
一般財団法人 日本自動車査定協会
一般財団法人 全日本交通安全協会
公益財団法人 日本自動車教育振興財団
一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会
全日本自動車部品卸商協同組合
アイ・ティ・エスジャパン
公益社団法人 自動車技術会
公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
一般社団法人 自動車再資源化協力機構
一般社団法人 日本ガス協会
一般社団法人 日本自動車運行管理協会
日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
一般社団法人 自動車用品小売業協会
一般社団法人 日本オートオークション協議会
日本中古車輸出業協同組合
全国オートバイ協同組合連合会
日中投資促進機構
一般社団法人 青森県自動車団体連合会
一般社団法人 岩手県自動車会議所
一般社団法人 宮城県自動車会議所
一般財団法人 秋田県全自動車協会

山形県自動車団体連合会
一般財団法人 福島県自動車会議所
東京都自動車会議所
一般社団法人 神奈川県自動車会議所
一般社団法人 静岡県自動車会議所
一般社団法人 愛知県自動車会議所
一般社団法人 岐阜県自動車会議所
一般社団法人 三重県自動車会議所
一般社団法人 富山県自動車会議所
一般社団法人 石川県自動車会議所
一般社団法人 福井県自動車会議所
一般社団法人 大阪自動車会議所
一般社団法人 徳島県自動車会議所
一般社団法人 香川県自動車会議所
愛媛県自動車会議所
高知県自動車会議所
一般財団法人 大分県自動車会議所

(ほかに企業会員84、推薦会員3)